

2023 年度日本環境感染学会教育委員会主催
医療疫学トレーニングコース 上級編概要

目標 本トレーニングコース修了時点で、受講者は

- 1) 医療関連感染サーベイランスやアウトブレイク調査において、リスク因子の検討を目的にコホート研究または症例対照研究で行われる線形回帰モデルおよびロジスティック回帰モデルについて説明できる。
- 2) シミュレーション演習を通し、統計ソフト (EZR) を使用した線形回帰モデルおよびロジスティック回帰モデルの適切な手順の進め方、結果の解釈を述べることができる。

日時ならびに開催場所

日時：2024 年 2 月 17 (土曜日)

場所：東京医科歯科大学 (東京都文京区湯島 1-5-45)

交通アクセス：JR・東京メトロ丸の内線 御茶ノ水駅より徒歩 3 分

募集人数 15 名 (なお、応募多数の場合の参加者については委員会に一任いただきます。応募資格や地域性等を考慮し調整させていただきます)。

募集時条件 (以下の 4 つを満たしていること)

- ① 日本環境感染学会の会員であること
- ② 医療関連感染対策の分野における臨床での活動経験 (3 年程度) があること (どのような活動経験か、具体的にお書きください。例 ICT 歴 3 年)
- ③ 疫学・統計学の基礎的な知識を持っていること
- ④ パーソナルコンピュータを持参できること (Windows 10 以上の OS のパソコンをご持参ください。Mac OS は EZR の動作不良を起こすことが多いため、できるだけお避けください。また、Mac OS の場合、チュータが演習支援を十分担当できない可能性もあることもご承知おきください。)

参加費 1 万円 (昼食代込み)

講師 大阪公立大学 大学院医学研究科 医療統計学教室
特任研究員 谷内 颯樹 先生

内容

9:40～受付、9:55開始、16:15終了

午前 講義・演習(1) 統計ソフト EZR の基本操作、仮説検定の選び方、多変量モデルの選び方(線形回帰モデル・ロジスティック回帰モデル)

午後 講義・演習(2) EZR で演習用データを用いた多変量モデルの使い方(線形回帰モデル・ロジスティック回帰モデル)

実際の臨床研究における多変量モデルの戦略

修了証書授与・写真撮影

※演習で USB メモリースティックによるデータの受け渡しがあります。USB タイプ A の接続口がないパーソナルコンピュータを持参の場合は変換機などをご持参ください。